

【専門分野】

科目名	老年看護援助論Ⅱ（看護の方法）	講師名	専任教員	学年	2	履修期	第1学期
単位	1単位						
時間数	30時間						
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	老年期特有の健康問題と生活機能に障害をもつ高齢者への看護の要点を学ぶ。						
授業科目目標	1. 老年期特有の健康問題を身体的・精神的・社会的変化から捉え、対象に合わせた検査・治療・看護が理解できる。 2. 老年期にあり健康障害を抱える対象の地域での生活を見据えた支援について理解できる。						
授業計画	1～5回：身体疾患のある高齢者の回復を促すアセスメントと看護 1) 脳血管疾患 2) 心不全 3) 糖尿病 4) 慢性閉塞性肺疾患、肺炎 5) パーキンソン病 6) 骨粗鬆症、骨折  6回：薬物療法を受ける高齢者への看護 7回：検査及び手術療法を受ける高齢者の看護 8回：リハビリテーションを受ける高齢者の看護 9～10回：認知機能障害のある高齢者のアセスメントと看護 1) うつ 2) せん妄 3) 認知症  11回：高齢者のリスクマネジメント 1) 災害時の援助 2) 医療事故予防 3) 救命救急時の援助  12回：保健医療福祉施設および居住施設における看護 1) 介護保険施設 2) 地域密着型サービス 3) 住まい  13～15回：終末期にある高齢者への援助 1) 高齢者の尊厳を守る意思決定支援 エンドオブライフケア 2) 意思決定の支援 3) 家族に必要な終末期看護、悲嘆教育  15回：終了試験					講義 グループワーク   講義 講義 講義 講義  講義   講義	
評価方法	筆記試験（90%）、レポート（10%）						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 老年看護学，医学書院。 2. 泉キヨ子・天津栄子：根拠がわかる老年看護技術，メヂカルフレンド社。						
参考書	1. 奥野茂代他：老年看護学 一概论と看護の実践-，ヌーヴェルヒロカワ。 2. 水谷信子監修：最新老年看護学，日本看護協会出版会。						
学生へのメッセージ	高齢者の加齢に伴う心身の変化や環境が、疾患の諸症状や予後にも大きく影響してくることを理解した上で、具体的な看護を学んでいきましょう。根拠ある看護を行うためにも、その病態や症状、診断治療をしっかりと理解していくようしましょう。 【関連科目】病理学Ⅰ～Ⅲ、薬理学、臨床看護総論、生活を支える看護Ⅰ、在宅療養を支える看護Ⅰ、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ、老年看護学概論						